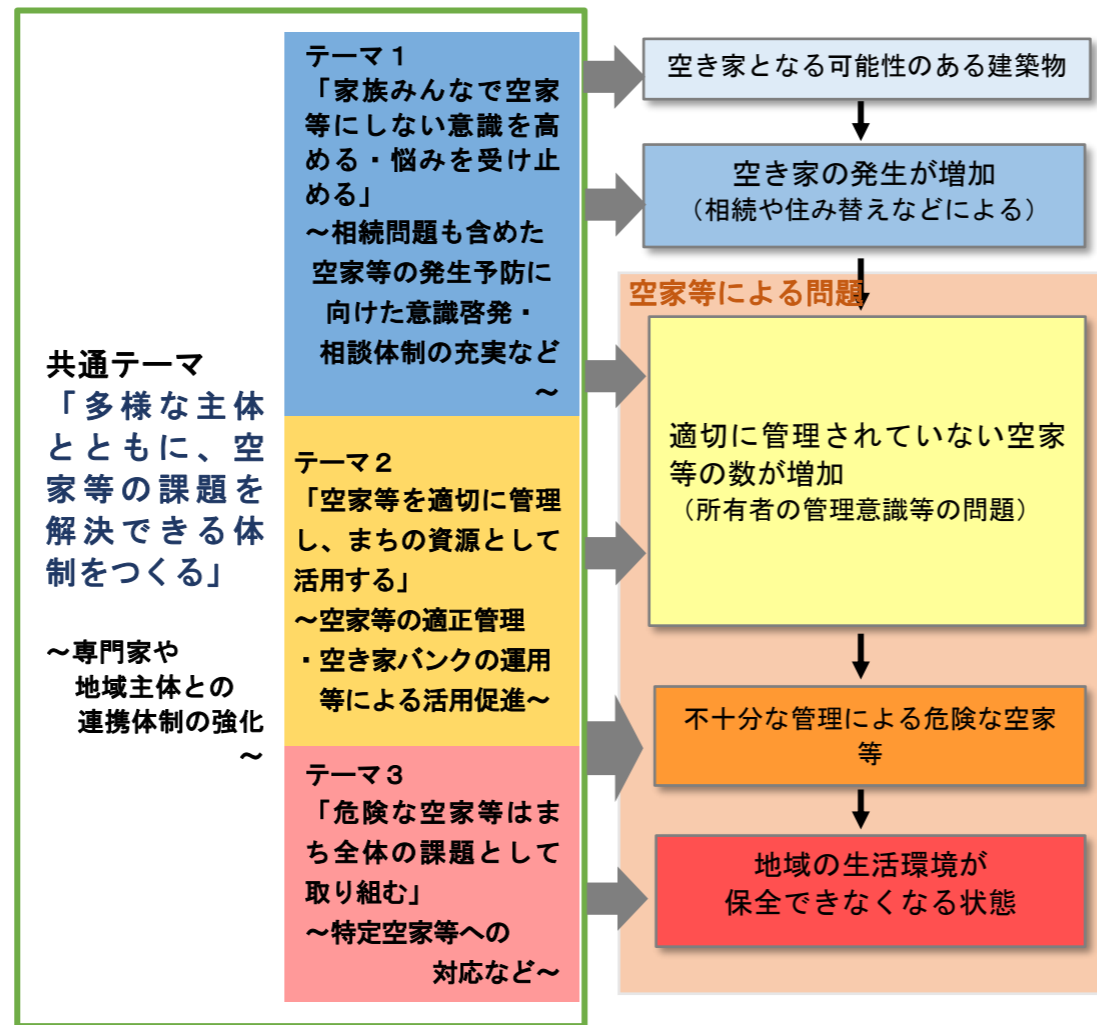
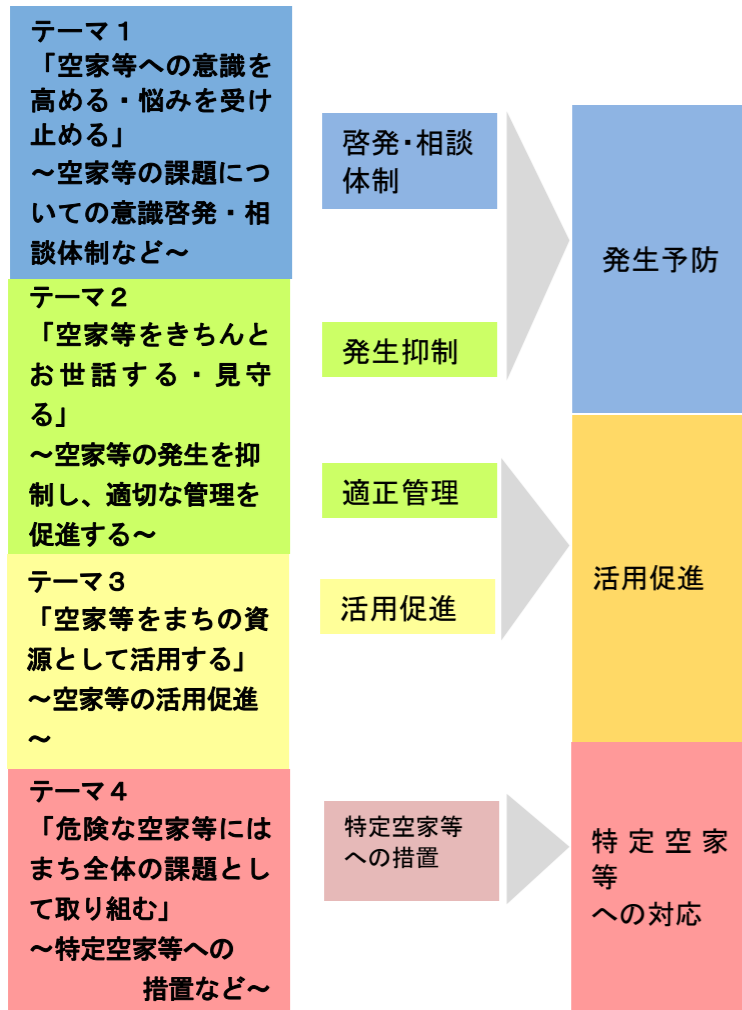


多様な課題解決の視点から、まちづくりの一環として空家等対策に取り組む

現行計画(H30～R4)

改定計画(R4～R13)



【変更点】 <基本方針は現行計画を継承>

- 4つのテーマから、3つのテーマへ わかりやすく整理しました。
- 専門家や地域との連携を強化します。
- 空き家予備軍(将来空き家)も含めて予防啓発をします。

【テーマ1の取組】

- 幅広い世代への意識啓発
 - 自治会等や専門家との連携
 - SNSやHPによる情報発信
 - 相談会やセミナーの実施
- 相談窓口の充実
 - 地域における相談体制の強化

【効果】

- 家族で空き家を考えるきっかけづくり
- 市民ニーズの把握
- 気軽に相談できる体制づくり

【テーマ2の取組】

- 適正管理と活用促進
 - 空き家への改修補助
 - 管理サービスの普及促進
 - 町家などの古民家再生
- 空き家の流通促進
 - 空き家バンク制度の創設

【効果】

- 空き家の適正管理
- 地域資源としての有効活用
- 中古住宅としての流通活性化

【テーマ3の取組】

- 特定空家等の把握と情報共有
 - 安全パトロールの実施
 - データベース整備
- 特定空家等に対する対応
 - 所有者への指導と解体支援

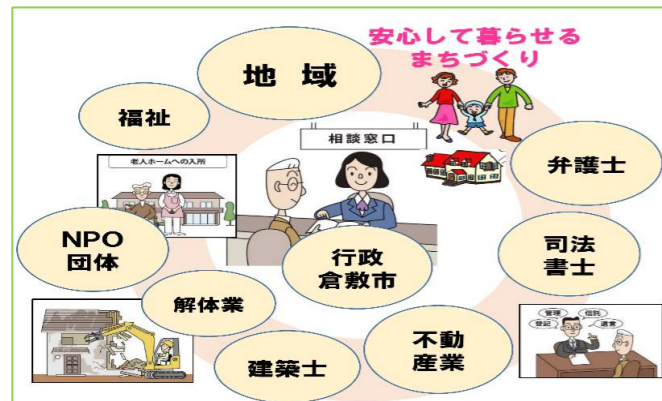
【効果】

- 危険個所の早期把握
- 窓口部署による迅速な対応
- 管理不全化した土地・建物の適切な管理が可能となる

【今後のスケジュール】

令和4年 12月26日から パブリックコメントの募集
令和5年 1月25日まで

令和5年 3月31日 倉敷市空家等対策計画改定



【共通テーマの取組】

- 地域・福祉との協働
 - 自治会等との協力体制の構築
 - 福祉関係団体との連携・協力
- 専門家団体との連携
 - サポート体制の仕組みを検討
 - NPO等の団体との協働推進

【効果】

- 地域の困りごとに応じた相談会や啓発活動の展開
- 問題解決の円滑化やワンストップサービスの構築